

### 多久市の未来発展のために！

#### 土地開発公社の事業報告について

**千北** 公社で、ここ数年事業はされてないが状況は。

**答弁** 毎年度、理事会を開催しており、事業計画や政策方針が決定された際に、すぐに対応できる体制を維持しています。

#### 多久市内での企業誘致について

**千北** 企業誘致で県との連携や情報共有はできているのか。

**答弁** 進出希望の企業より県や首都圏事務所へ相談があった情報を共有



千北 政利 議員

し、市の優遇制度や県の補助制度の紹介を行っています。

#### 今後の企業誘致の方策は。

**答弁** 令和6年6月に条例改正を行い、県の立会いおよび署名を不要とする特例を設け、他市町と差別化を図るため、優遇制度の充実に取り組んでいます。

#### 多久市における第1子からの保育料無償化について

**千北** 第2子以降の対象人数と効果は。

**答弁** 現在、保育園および認定こども園に通園されている市内対象人数は115人です。本年4月からの導入で効果の見極めまでには至っておりません。

**千北** 第1子からの無償化も県内初となりますので、検討していただきたい。



坂口 絹代 議員

### 乗ってますか？ チョイソコたく

#### 予約型乗り合いバス「チョイソコたく」について

**坂口** チョイソコたたくの利用者数と現状は。

**答弁** 令和7年5月現在の登録者数は1,428名で、5月の利用者数は2,100人です。昨年度11月までの利用者数の平均乗車人数は2,096人ではほぼ同水準に達しています。

**坂口** これまでふれあいバスを利用していただいていた高齢者の不満や不安への対応は。

**坂口** 「チョイソコたく」で公立佐賀中央病院を利用することの不安への対応は。

**答弁** 病院にチョイソコたく専用の電話機を設置し、予約も30分前までに短くできないか協議しています。初期の間は職員を配置します。

**坂口** 携帯電話の貸与、デジタル活用支援なども視野にいれ、誰もが安心して利用できる「チョイソコたく」をお願いします。



### 学校から地域へ 部活動の新しいかたち

#### 運動部活動の地域移行について

**渡島** 今現在の課題は。

**答弁** 中体連主催の地区大会は学校登録が必要ですので「東原産舎」のチーム名で出場させることができない事態が生じています。

#### 地域移行の成果は。

**答弁** 他校の生徒が合同で練習をし、交流を深めていることがあげられます。

**渡島** 部活動の地域移行において、市はどのような役割を果たしているのですか。

**答弁** 地域移行に向けて関係機関をまとめて軌道に乗せることがこれまでの役割でした。今後はさらに、円滑に地域移行したクラブの運営ができるよう、市をあげてサポートしていくことが大切であると認識しています。

#### 必要な財源をどのように確保していくのか。

**答弁** 事業として補助が得られる間はこれを継続していき、必要や状況に応じて国に働きかけを行うなど、



渡島 幸司 議員

財源確保に努めていきたいと思っています。

#### 地域の現場をどのように支援していくのか。

**答弁** スポーツピア、スポーツ協会と共に協力をしながら、運動部活動の地域移行が円滑に推進、そして、充実ができるように、しっかりと市としても対応していきたいと考えています。



### ピカッ！ゴロ！雷注意！！

#### 学校での安全の確保について

**市丸** 雷・熱中症対策での判断基準は。

**答弁** 落雷に関しては雷注意報が、熱中症に関しては、熱中症指数計の結果および熱中症アラートが判断基準となっています。

#### 熱中症指数計の配置は。

**市丸** 東原産舎東部校に2台、中央校に10台、西溪校に5台配置しています。

#### 雷に対して、客観的に判断できる機械やサービスを導入しては。

**答弁** 提案があった雷探知機について、客観的な基準を得るために機械の導入を進めていこうと考えています。



▲導入された雷探知機



市丸 勝義 議員

#### ふるさと納税の活用について

**市丸** 活用方法の決定については。

**答弁** 市役所内の「ふるさと応援寄附運営委員会」で審議し、決定をしています。

#### 市民がふるさと納税を活用できる仕組みを。

**答弁** 総合計画で「市民が築くみんなを取り組む参画と協働のまちづくり」と掲げており、地域の課題に対して市民が行政と共に取り組む意識を醸成し、まちづくり活動を活性化させていくことも重要であると捉えていますので、研究していきます。

#### 小中高校入学時に就学準備金として5万円を支給を。

**答弁** 総合計画で「子どもすくすく教育重視・子育て応援のまちづくり」と掲げており、最重要課題に位置づけています。事業については、その財源も含め、慎重に検討していく必要があると考えます。